

学びのR

No. 5 O (令和4年2月)
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform（改革）」の頭文字です

*** 「通級による指導」の充実を図る *** ～ 「通級による指導」の基本～

* 今回は、「通級による指導」の基本について解説します。特別支援学級や通級による指導を担当する方はもちろん、通常の学級を担当している方、管理職の方、保護者の方も、ぜひ御覧ください。

「通級による指導」とは何ですか？

「通級による指導」とは、大部分の授業を小・中・高等学校の通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態で、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行います。

個別の課題に対応するために、多くの場合、1人ずつ、1～2時間指導します。

「通級による指導」にはどんな種類があるのですか？



埼玉県マスコット「コバトン」

通級による指導の対象となるのは、言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、LD、ADHD、肢体不自由、病弱及び身体虚弱の児童生徒です。埼玉県では、「難聴・言語障害通級指導教室」と「発達障害・情緒障害通級指導教室」が設置されています。（令和3年度は小学校43、中学校17教室を設置）

通級指導教室では実際にどのような指導が行われているのですか？

難聴・言語障害 通級指導教室

言語障害については、正しい音の認知や模倣、構音器官（口唇や舌など）の運動の調整、発音・発語の指導などを行います。

聴覚障害については、聴覚の活用、補聴器等の適切な装用、音声の聴取の指導などを行います。

発達障害・情緒障害 通級指導教室

発達障害（LD、ADHDなど）については、障害の特性や生じている困難を理解し、困難の軽減を図ることができるような指導を行います。

自閉症については、他者と社会的な関係を形成することに伴う困難を軽減するために、円滑なコミュニケーション等についての指導を行います。

通級による指導における教育課程はどのように編成するのですか？

PICK UP! 指導内容

通級による指導は原則として「自立活動」となります。単なる補足的な教科の指導はふさわしくありません。特別の教育課程は、担任が、通級指導教室の担当と連携をとって作成します。

「通級による指導」を受ける児童生徒は「特別の教育課程」を編成する必要があります。指導時数は、年間35単位時間（週1時間）から年間280時間（週8時間）までを標準としているほか、学習障害（LD）者及び注意欠陥多動性障害（ADHD）者は、年間10単位時間（約3週間に1単位時間）から280時間（週8時間）までを標準としています。

※ 次頁では、通級指導教室について詳しく説明します。



コミュニケーションが苦手な児童の指導例（小3・Bさん）

課題：「集団での関わりが苦手である」「人の意見を聞くことができずコミュニケーションを上手にすることができない」「友達とのトラブルが絶えずに衝動的に手が出てしまう」

指導目標

- ・集中して学習活動に取り組むことができる。
- ・状況や場面に応じたあいさつを行い、自分の気持ちを言葉にして相手に伝えることができる。
- ・安定した気持ちで授業を受けることができる。

指導例（小3・1学期 45分授業）

時間	学習活動	学習内容	指導の工夫と留意点
導入 2分	1 始めのあいさつ	先生方が担当している学級に、通級指導教室に通っている児童生徒がいる場合は、 <u>通級指導教室担当の先生と、連携</u> をとります。 通級指導教室では、 <u>自分の感情を言葉で伝えられるように指導</u> します。	通級指導教室では、 <u>自分の感情を言葉で伝えられるように指導</u> します。
5分	2 予定表記入 ・見る ・聴く		
展開 5分	3 わたしのこと ・見る・考える ・表現する	・自作のワークシートやSSTカード等を使用し、SSTを行う。	○うれしい気持ちや怒りの気持ちにもいろいろなレベル（強さや弱さ）があることを、考えられるようにする。
15分	4 SST (ソーシャルスキルトレーニング)	・4～6枚の絵カードを物事が起こった順番に並びかえる。	○物事が起こる順番を時系列に並べることができるようにする。
5分	5 絵画配列絵カード ・見る ・考える・話す	・時間を決め、カードの質問に順番に答えていく。	<u>短い活動を組み合わせることで、集中して取り組める</u> ようにしています。
10分	6 質問カード ・見る ・考える ・話す	・今日の学習の振り返りを する。(連絡帳の記入)	
3分	7 学習の振り返り		

通級指導教室を担当する魅力はこんなところです。(通級指導教室を担当している先生の感想)



通級指導教室は、「ぼくだって、わたしだって『やればできる』魔法がかかる部屋」として捉えています。通級による指導を受ける児童が、自分の生きにくさやモヤモヤした気持ちを吐き出せる場となるように心がけています。注意されることが多かった児童を多面的に見て、関わることで良い面を見つけ、担任や保護者と共有することで、その児童への見方を変えることにつなげています。児童の成長が感じられて、とてもやりがいを感じています。

【参考資料】「埼玉県特別支援教育教育課程編成要領(2)小学校及び中学校特別支援学級・通級による指導編」(平成31年3月 埼玉県教育委員会)
「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」(令和2年3月 文部科学省)
「障害に応じた通級による指導の手引 解説とQ&A」(平成30年8月 改訂第3版) (文部科学省)



「学びのR」
はこちらからも御覧いただけます!

